

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	みずほひじり保育園
活動日時	令和 8年 2月 4日 (水)
クラス名(年齢)	ひよこ組

1. 活動テーマ

<テーマ>

氷に触れてみよう

<テーマの設定理由>

- ・水が形に変化し、水との違いに気づけるようにする。
- ・氷の冷たさや固さにも気づけるよう氷に触れる機会をつくる。

2. 活動スケジュール

- ・水が凍っている様子を見る。
- ・氷に実際に触れて固さや冷たさを知る。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・ジュンサイ池に散歩
- ・氷
- ・カメラ

4. 探究活動の実践

<活動内容>

夏は水に触れることを楽しみながら水の動きや感触を十分に楽しんだ。冬になり散歩先の池の水が凍り形を変えていたので、子どもたちの関心が向くように保育士が小石を使って池の氷を割って見せると注意して見ていた。また、池の氷を取って見せると子どもたちは積極的に氷に触れ、冷たさや固さ、溶ける様子などを体感していた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

①



氷に触れて「冷たい」と言った。冷たさや固さを触れて知った。

②



氷が透明であることに気づかせる為、反対側が見えるよ、という保育者の声掛けに同じように氷を近づけて見ていた。

③



氷を地面に打ち付けて音がすると「おお～」と声を出して喜んでいて。割れてしまうと溶けていく様子をじっくりと見て溶けた氷を掴もうと頑張っていた。

④



氷から滴る水滴を触ろうとしたり、氷に張り付く葉などを不思議そうに見ていた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

散歩で行き慣れているジュンサイ池の水が凍っていていつもと違う様子に気づいた子どもたちだった。保育士が氷を割ってみると水が出てくるところに興味深く見ていた。氷を手渡すと冷たさに驚く子や氷を顔に近付けて反対側が見えることに覗き込んで楽しんでた。地面に打ち付けて音を楽しんだり固さや割れてしまうことにも気づいていた。子どもたち自身での気づきが沢山あったが、子どもたちの気づきを大切にしながら声掛けを行うことで新しい発見にもつながっていたので今後も四季を通して、子どもたちの様子を見守りながら声掛けを工夫していきたい。